

戸建向けEV普通充電器の需要は数倍!?

EV普及のカギは、 自宅の「基礎充電環境」に

政府は2030年までにEV充電器を15万基（うち急速充電器は3万基）整備する事を目標にしているものの、半導体不足や物価高騰などによって達成計画に遅れが見えています。そんな中、気軽に普段使いができる比較的安価な軽EVなどの登場により自宅での基礎充電需要が高まっており、住宅業界でもEV充電器はエクステリアの一部という認識が高まりつつあります。



黎明期からEV充電器の研究開発を開始

日本におけるEVの歴史を振り返ると、2000年代初頭までは実証用や業務用の車両がほとんどでした。

その後、2009年6月に三菱自動車工業が「i-MiEV（アイ・ミーブ）」を、2010年12月に日産自動車が「LEAF（リーフ）」を発売し、本格的なEV販売の時代が幕を開けることとなります。

しかし、カワムラはそれよりも前にEV充電器の開発をスタートしています。これは、電気の安全を一番にもものづくりをしてきた当社に対して、自動車メーカー側から相談を受けたことに端を発したものでした。当時はまだEV充電に対する業界規格もなく、政府も業界もメーカーも全てが手探り、試行錯誤を何度も繰り返しながらの日々でしたが、粘り強く開発を推進。初代「EVコンポ」を発売できたのは、キュービクルや分電盤などの開発で培ってきた技術力と、昨今掲げている「ないから、つくるんだ。」という思想の先駆けとも言える、チャレンジングな開発姿勢の表れだと思っています。

初代EVコンポ



カワムラの家庭用EV充電器は 安心・安全を第一に考えた設計思想

カワムラは電気を安心・安全に使っていただくためのデバイスを開発する企業です。ホーム分電盤やプレトラックコンセントもその一つですが、カワムラのEV充電器も同じ思想のもとに生み出されています。初代「EVコンポ」は、自分でEVへ充電することに慣れていない方でも安全に使えるEV充電器として発売を開始しました。それがちょうど日産自動車「LEAF（リーフ）」の発売と同時期、2010年10月頃でした。

EVの普及に伴い、ユーザーの要望に変化が

初代「EVコンポ」は毎日の充電作業を簡単にしつつも「電気の盗難防止」「感電等の事故防止」など、想定されるリスク対策が施されていたことで、一定の評価を得ることができました。しかし、EVの普及がユーザーの要望をさらに高くすることになります。特に、新車や新築住宅の購入時、EV充電器を同時に検討するユーザーにとって「導入コスト」や「エクステリアとの親和性」が、決定の大きな要素ということが鮮明になり、競争に負けない新たな魅力を加えた、2代目「EVコンポ」の開発をスタートさせる必要が生まれたのです。



カワムラのEV普通充電器 EVコンポ

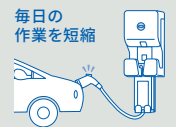
発売から10年近い年月が経った今でも
評価されるロングセラー

初代は他社に先駆けて開発した製品でしたが、2013年に発売された2代目「EVコンポ」は幅広いニーズに対応するため、方向性の違う2種類を開発。1つは樹脂製ボディの採用によりコストパフォーマンスを高めた「ライト」。もう1つはスッキリした外観かつ堅牢な金属製の筐体と充実したオプションの「プライム」。これらは初代の開発から続く安心・安全に妥協しない設計思想に加えて、存在を大きく主張せずエクステリアとの親和性を持たせたデザインとサイズによって、永くご支持をいただいています。

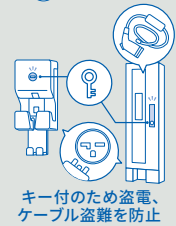
今年からは家電量販店での展示販売も開始予定。市場の広がりも期待できる、カワムラのロングセラーです。

Point1 毎日の充電を簡単に

充電のたびに車からプラグを取り出し、外壁の屋外用コンセントと車をつなぐという作業を無くし、車への抜き差しのみにする事で、毎日繰り返す作業時間を軽減します。

**Point2** 盗難・盗電のリスクを回避

充電は一般的に帰宅後の夜間に行うことが多く、機器が目立ちにくい状態です。通常のコンセントだけではケーブルを容易に取り外せるため、常に盗難や盗電のリスクに晒されます。「EVコンポ」は、充電中でも施錠ができるため、充電ケーブルや電気の窃盗を防止できます。

**Point3** 感電事故を防止するON/OFFスイッチ

充電は屋外作業のため、雨天での使用は感電などによる偶発的な事故も想定されます。電気知識のない方でも安全に使用していただくために、ケーブルを接続した後に通電を行えるよう通電口から離れた箇所にON/OFFスイッチを搭載しました。



住宅のエクステリアに馴染むデザイン性と、安心・安全の設計

EVコンポ **ライト** COMPO

エクステリアに馴染む樹脂デザインを採用
コストパフォーマンスに優れたエントリーモデル

1 安心の防犯機能

電源プラグをカバー（ドア部分）ですっぽりと覆い、専用キーで施錠/開錠が可能。盗難・盗電を防ぎます。



※充電ケーブルは付属していません

2 ケーブルをすっきり収納

ケーブルホルダーで、さまざまなメーカーの充電ケーブルをコンパクトに整頓。保管時の絡まりなども軽減します。

EVコンポ **プライム** COMPO

金属製キャビネットと
豊富なオプション設定で
耐久性と幅広い
要望への対応可能

1 戸建住宅に馴染むデザイン

銀色を基調とする金属製の筐体は、外構に馴染みやすく、違和感の少ない仕上がりです。



壁掛型/プライムW 自立型/プライムS

※充電ケーブルは付属していません

2 幅広いオプション

ダイヤルロックや100V充電仕様、ステンレス製への変更などさまざまな工場出荷オプションをご用意しています。



住宅設備の今と未来がわかる「Kawamura 住まいのあんしん」サイトはこちら
[カワムラ公式サイトからもご覧いただけます]

